



地域の防災に貢献 消防団協力事業所

消防団協力事業所表示制度は、消防団活動に積極的に協力している事業所などに、市が「消防団協力事業所表示証」を交付し、地域防災に貢献する事業所として広報できる制度です。

市では現在、59の企業などが消防団協力事業所認定されており、勤務する人たちが仕事と消防団活動を両立できるようにすることで、災害対応力の向上につなげています。

防災活動を通して 住民に寄り添う、地域のよりどころに

「向上心、チームワーク、信頼」を基本理念とし、市内で最多の消防団員が所属する、みやぎ登米農業協同組合。消防団活動への理解と支援に加え、訓練会場や災害時の支援物資一時保管場所の提供など、さまざまな側面から地域防災力の向上に貢献しています。

また、市内の産業、農業者に広く携わる事業所であることから、農地における火災や自然災害対策、

農機具火災の予防啓発などにも注力しています。

石川組合長は「地域に根差した組織として、地域貢献、消防防災活動に率先して参加するよう、職員に呼びかけています」と話しています。

▶みやぎ登米農業協同組合

【従業員数】530人

【消防団員数】35人

2010年消防団協力事業所認定



みやぎ登米農業協同組合
代表理事組合長

石川 信喜さん

消防団員募集

消防団に参加し、地域のために活動してみませんか。

【入団資格】

- ①市内に居住、または勤務している人
- ②年齢が18歳以上で、健康な人

【申込方法】入団を希望する場合は、消防本部警防課消防団係またはお住まいの地区の総合支所市民課地域振興係へ問い合わせください

【申し込み・問い合わせ】
消防本部警防課(消防団係)
☎ 0220(22)1901



消防本部
ホームページ

協力事業所募集

【認定基準】消防法令に違反が無く、かつ下記に掲げる基準のいずれかに適合する事業所など

- ①従業員が消防団員として3人以上入団している
- ②従業員の消防団活動について、積極的に配慮している
- ③災害時に資機材などを消防団に提供するなどの協力をしている
- ④地域の消防防災体制の充実強化に寄与している

団員インタビュー

消防団には、年齢や仕事もさまざまな人たちが所属しています。地域の安全と安心を守るために活動する皆さんの声を聞きました。



千葉 美津恵さん
＝迫町永田＝

●入団のきっかけは

17年前に、団員の友人に誘われて。

●どんな活動をしていますか

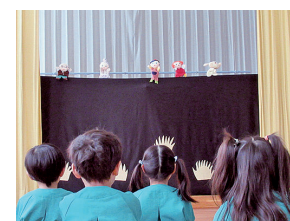
春と秋の火災予防運動での広報活動や消防団演習のほか、女性分団は、一般市民向けの応急手当で講習や市内幼稚園を訪問して指人形を使った防火教育なども実施しています。火災現場では、周辺の交通誘導などを担当します。

●仕事や家庭生活との両立について

介護施設で働いているため、急な出勤は難しい場合がありますが、消防団活動に対しては職場も家族も理解し、協力してくれています。

●活動を通して感じることは

昔と比べて、一人暮らしや高齢者世帯が増え、住民同士のつながりが薄れてきていると感じるので、防災活動の一環として地域の見守り活動もしていけたらいいなと思います。



●入団のきっかけは

昨年、大学を卒業し、支団長をしていた祖父と入れ替わりで入団しました。小さい頃から祖父の姿を見ていたので、いつか入ろうと思っていました。

●普段の活動について

まだ火災の出場はしたことがありませんが、研修や訓練、ポンプ点検など、緊張感を持って備えています。

●消防団に入って変わったことは

農業の勉強のため、高校、大学と地元を離れていたのが、地元の人たちと関わることがほとんどありませんでした。入団してから、団員や地域の皆さんとのつながりができて心強いです。

●市民の皆さんに伝えたいことは

どの支団でも、新規の入団者はとても少ないです。一緒に活動する仲間が増えることを願っています。



石坂 春輝さん
＝東和町錦織3区＝

●入団のきっかけは

35歳の時、婦人防火クラブの部長をしていた母に紹介されて入りました。吹奏楽を経験していたこともあり、ラッパ分団を兼任しています。

●ラッパ分団について教えてください

現在、分団員は40人。うち5人が女性団員です。出初式や演習などの場で演奏し、



鈴木 稔さん
＝迫町西館＝

団員の士気を高める役割を担います。
●ラッパ分団の配属条件は
主に希望者です。現在も3分の2は楽器が未経験で入り、月1回程度の指導会と自主練習などを重ねています。

●メッセージは

消防団の演奏を見て、「カッコいい、楽器をやってみよう」と思ったなら、ぜひ参加してほしいです。

ラッパ分団のみの入団も可能ですので、興味があったら連絡してください。

